

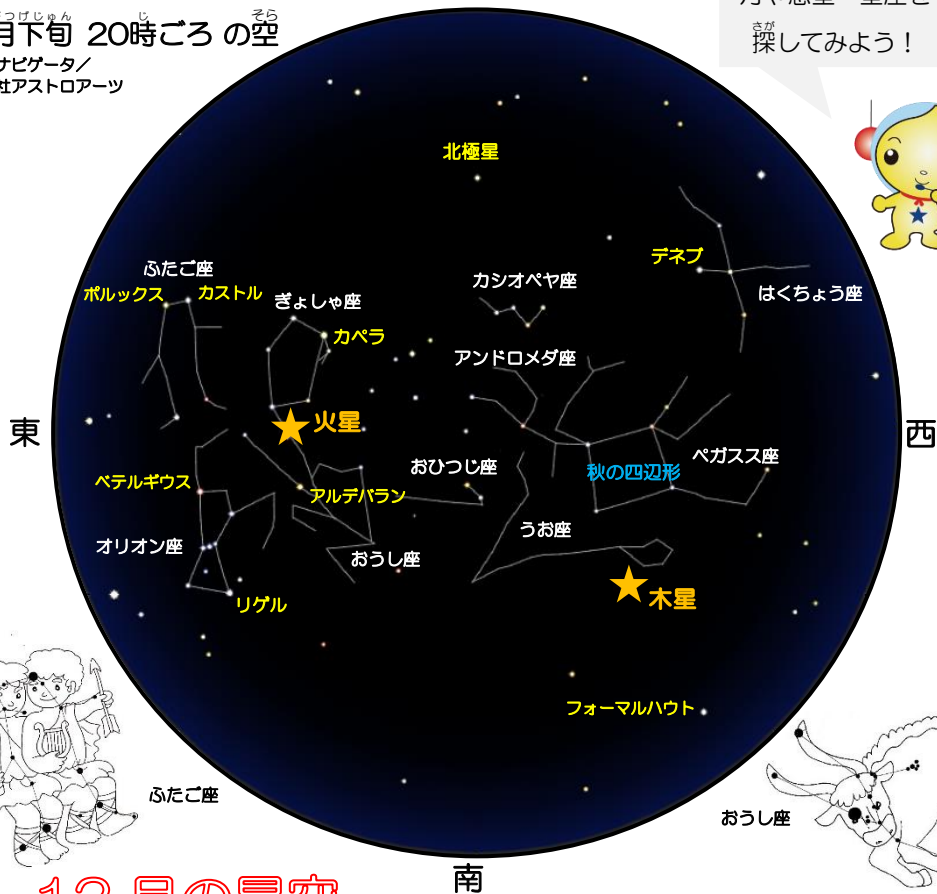
月刊 星空の散歩道 12月号

2022年

12月上旬 21時ごろ
12月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲーター/
株式会社アストローツ

北

月や惑星・星座を
探してみよう!



12月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に秋の星座が見え、東の空に冬の星座が見える。

- < 西 > はくちょう座 (デネブ)、ペガサス座
- < 天頂 > アンドロメダ座、おうし座 (アルデバラン)
- < 東 > ぎょしゃ座 (カペラ)、ふたご座 (カストル、ポルックス)、オリオン座 (ベテルギウス、リゲル)
- < 北 > 北極星、カシオペア座

☆天文トピック☆

12月 1日 火星中接近
天文コラム参照。

12月 14日 ふたご座流星群が極大
三大流星群のひとつ。ピークは14日22時頃と予想されています。この頃、真夜中は比較的明るい月が昇っているため、月明りの影響をうけます。観察には13日21時~14日0時頃と14日21時~15日0時頃がおおすすめです。

12月 22日 冬至
北半球では、1年で最も昼間の時間が短くなります。

☆月の形の変化☆

- 12月 8日 満月 ○
- 12月 16日 下弦 ◐
- 12月 23日 新月 ●
- 12月 30日 上弦 ◑

☆12月の惑星☆

火星…日没後、東の空

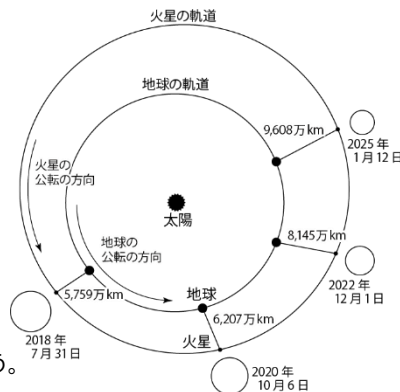
木星…日没後、南の空

土星…日没後、南西の空

<天文コラム> 火星を見よう!

地球は約365日、火星は約687日かけて、太陽の周りを公転しています。2年2ヶ月ごとに火星と地球の距離は近くなり、「火星接近」となります。両天体とも正確な円軌道ではなく少し楕円であるため、同じ「接近」でもその時々によって接近時の距離が変わります。今年12月1日に「火星接近」となりますが、その距離は8145万kmで、大接近時の2018年に比べるとそれほど近づかず、「中接近」となります。

「火星接近」時には、地上からは明るく、大きく見えるため、表面の様子が観察しやすくなります。今年の12月初旬の午後6時頃、東に火星、南に木星、やや西に土星が見えています。望遠鏡をお持ちの方は、木星の縞模様や、土星の環と一緒に、火星の黒っぽい模様を見てみましょう。



伊丹市立こども文化科学館 発行日 2022年11月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

